

チョウ目、ケラ防除にリラーク。



リラーク[®]
DF

殺虫剤

芝用

医薬用外劇物

リラークで芝の害虫を一掃！

リラークは、チョウ目・鞘翅目害虫・ケラによる芝の被害を防除し、さらにはミミズの糞塚形成も阻害します。優れた残効性により害虫駆除に係わる時間と労力が低減し、効率的・省力的な害虫管理を行うことが可能となります。



リラーク®
DF

殺虫剤

芝用

農林水産省登録
第23135号

① チョウ目から鞘翅目、ケラ、みみず糞塚形成まで幅広い芝害虫に防除効果があります。

② チョウ目害虫に対して経済的な防除ができます。

③ 残効性に優れているので省力的防除ができます。

④ 浸透移行性に優れているので、高濃度小水量散布も期待できます。

⑤ 残効性の長い薬剤との体系防除により、通年の害虫管理が飛躍的に向上することが期待できます。

● グリーン

	4~6月	6~9月
	タフバリアフロアブル 1回	リラーク DF1~2回
対象害虫	コガネムシ類幼虫 シバオサゾウムシ成虫、ケラ	チョウ目害虫、ケラ

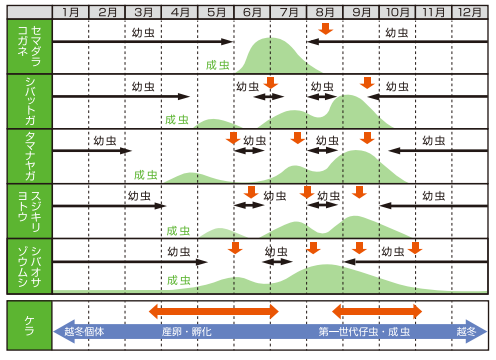
※残効の長い薬剤との体系防除によりグリーンの主要害虫を抑えることが期待できます。

● フェアウェイ/ラフ

シバオサゾウムシ成虫、コガネムシ類幼虫、チョウ目害虫もグリーンと同様な体系防除で省力的な防除が期待できます。

⑥ 他剤に感受性の低下した害虫にも有効です。

● リラークDFの各害虫散布適期（↓は防除適期）



適合害虫と使用方法

成分：チオジカルブ…80.0% 鉱物質微粉、界面活性剤等…20.0%

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チオジカルブを含む農業の総使用回数
芝	スジキリヨトウ	500倍	0.1ℓ/㎡	発生初期	5回以内	散布	5回以内
	シガツタバ	2000~3000倍	0.3~1ℓ/㎡				
	タマヤナガ	1000~2000倍	0.5~1ℓ/㎡				
	シバオサゾウムシ成虫	500倍	0.25ℓ/㎡				
	コガネムシ類幼虫	1000~2000倍	0.5~1ℓ/㎡				
	ミミズ糞塚形成阻害	2000倍	3ℓ/㎡				
さくら ふう プラタナス けやき	ケラ	2000倍	2ℓ/㎡				
	アメリカシロヒトリ	2000倍	1ℓ/㎡				

安全使用上の注意事項

- 石灰硫黄合剤、ボルドー液、ジチオカーバメート系薬剤及び銅水和剤との混用は避けてください。
- ベントグラスに対して希釈倍数 500~1000 倍で散布すると、葉害を生じる恐れがあるので使用をさけてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。また、養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布の際は防護マスク、手袋、長スポン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中及び散布後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせないようにしてください。小児や人畜等に留意してください。
- ◎ 漏出時は保護具を着用し、掃きとり回収してください。◎ 移送取扱いは、ていねいに行ってください。◎ 食べられません。
- ◎ 有効年月日に使用してください。◎ 体調の悪いとき、妊娠中、飲酒後等は取扱いおよび作業をしないでください。

貯蔵上の注意事項

- 密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼な場所に保管してください。盗難・紛失の場合は、警察に届け出てください。

治療法 …… 硫酸アトロピンの投与が有効(動物実験で報告)

魚毒性等 …… 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

バイエル クロップサイエンス株式会社
エンバイロサイエンス事業本部

〒100-8262 東京都千代田区丸の内1-6-5
【お客様相談室】0120-575-078

詳しくはこちらへ

www.es.bayer.jp

検索

お問い合わせ先



バイエルクロップサイエンスでは、
将来の世代のニーズを満たすことなく
現代のニーズを満たす、「持続可能な発展」のため、
Protecting Tomorrow ... Todayをモットーに
様々な活動を実施しています。

